

令和2年度予算概要

みんなが笑顔

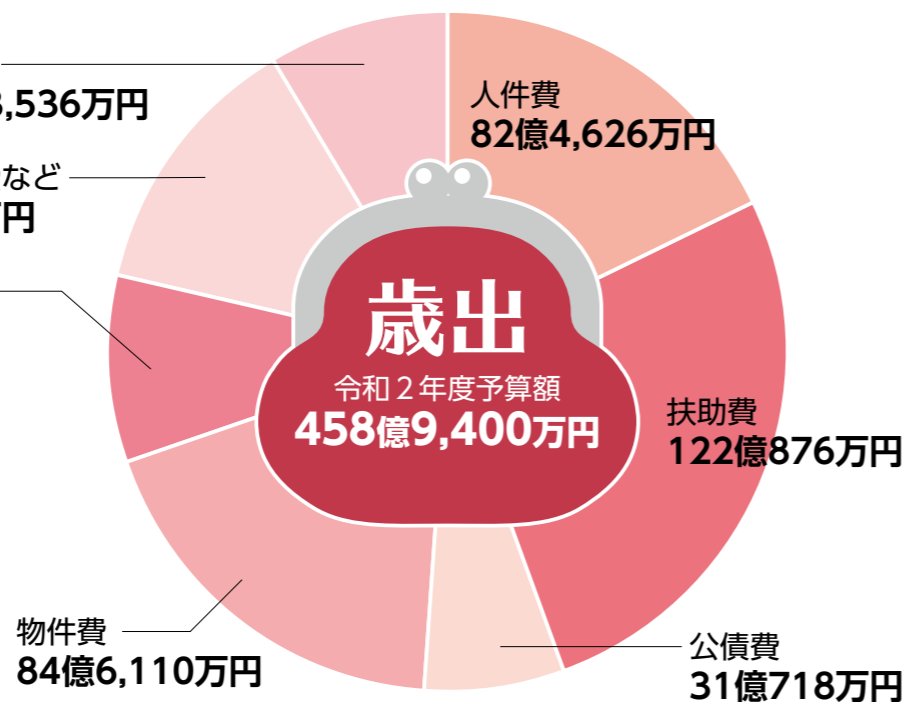
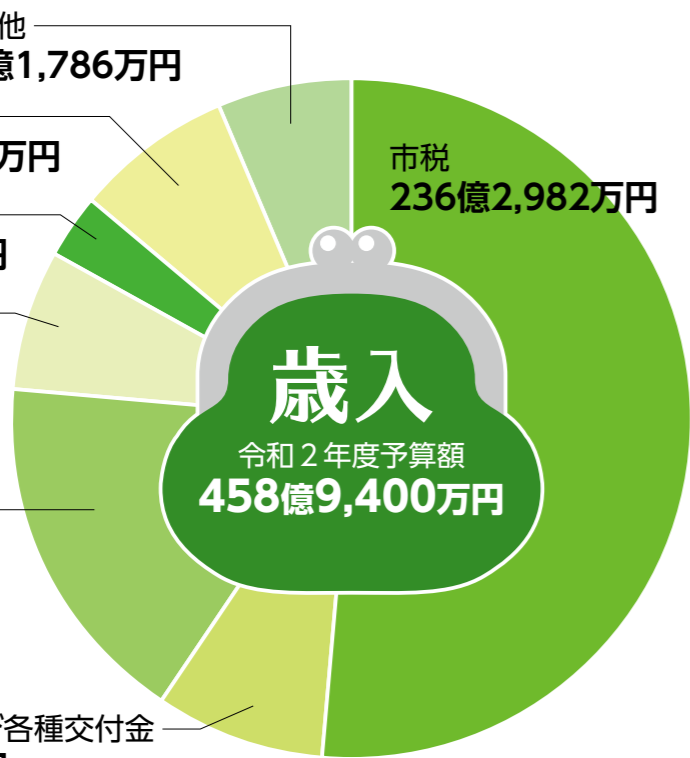
新たな未来の創造

企画財政課 ☎(235)8453



一般会計予算の内訳

一般会計予算額は前年度と比較し、20億6500万円、4.7%増の458億9400万円となりました。歳入は、個人市民税・固定資産税などの税目で前年度と比較し増、歳出は(仮称)上郷河原口線の整備継続や、有馬図書館・門沢橋コミセンの大規模改修などによる普通建設事業費などで増となったことが特徴です。



※歳出予算は経済的な性質で分類した「性質別経費」で示しています。

用語説明

- 人件費…市長や市職員の給与、議員報酬など
- 扶助費…障がい者や高齢者への支援、生活保護費など
- 公債費…市の借金である市債の返済に充てる経費
- 物件費…消耗品、業務委託料など
- 補助費…各種団体への補助金など
- 普通建設事業費…道路などの整備や建物の建設に関する経費

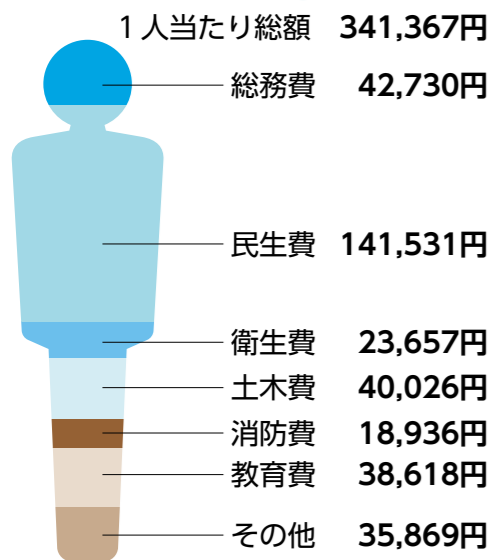
市が目指す10年後の姿と実現に向けた方針を示した新たな総合計画「えびな未来創造プラン2020」がスタートしました。これは、「みんなが笑顔 住みやすいまちえびな」を基本理念に、市民や訪れた人がにぎわいを感じ、一人一人の魅力を生かし、互いの価値観を認め合い、支え合いながら「笑顔」で「住みやすい」まちづくりを目指すものです。計画の初年度となる令和2年度の予算編成は「みんなが笑顔」新たな未来の創造」がテーマです。これまで進めてきた施策をさらに推進し、まちの進展に伴うさまざまな課題の解決と将来に向けた持続的な行政運営などを目指します。

会計名	令和2年度当初予算額	対前年度伸率
一般会計	458億9,400万円	4.7%
特別会計	228億8,593万2,000円	3.1%
国民健康保険事業	119億3,278万5,000円	△1.8%
介護保険事業	90億7,524万4,000円	8.3%
後期高齢者医療事業	18億7,790万3,000円	12.6%
企業会計	48億4,337万2,000円	△4.2%
公共下水道事業	48億4,337万2,000円	△4.2%
合計	736億2,330万4,000円	3.6%

一般会計、特別会計および企業会計を加えた予算総額は約736億2300万円で、過去最大の予算規模となりました。

令和2年度予算額

市民1人当たりの予算の使い道(目的別経費)



※歳出予算を行政目的で分類し、住民基本台帳の令和2年1月1日現在の人口13万4,442人で算出しています。